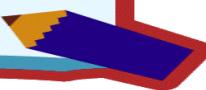


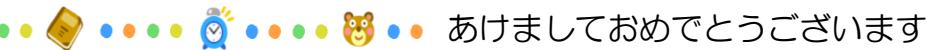
きこえことば

令和8年1月8日発行



目黒区立東根小学校
校長 高鍋 恭子
きこえことばの教室

(Tel&Fax 3421-7757)



あけましておめでとうございます



副校長 藤本 ひろみ

昨年は、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございました。

きこえことばの教室での授業を見ていると、いつも一人ひとりが自分自身の課題と向き合い担当教員と一緒に頑張る姿が見られます。担当教員との話が弾み、にこにこ笑顔の様子も微笑ましかったです。保護者の皆様には、本校までの送迎、毎回本当にありがとうございます。大変なこともあるかと思いますが、日々の積み重ねが着実に子どもたちの力となっています。

今年は、午年。午（うま）は、力強さ、躍動感、前進を象徴し、新しい挑戦や努力が実を結びやすい年とされているそうです。今年も、子どもたちが、日々前進していくよう、教職員一同、全力で支えてまいります。引き続きご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

1月の予定



- 9日（金）通級開始
- 13日（火）都難言協 江南ブロック研究会（午後）
- 14日（水）部門研究会（午後）
- 20日（火）都難言協 役員研究会（午後）
- 27日（火）きこえグループ学習15:10～16:10

- 3日（火）都難言協 江南ブロック研究会（午後）
- 4日（水）教育会発表分科会（午後）
- 10日（火）都難言協新旧役員研究会
- 12日（木）第4回入級支援委員会【午後の通級指導はありません】
- 17日（火）都難言協 多摩北ブロック研究発表会（午後）
- 20日（金）ことばグループ学習15:30～16:30
- 24日（火）都難言協 中学校ブロック研究発表会（午後）



2月の予定

3月の予定



- 3日（火）都難言協江南ブロック研究会（午後）
- 4日（水）教育会全体発表会（午後）
- 6日（金）通級終了
- 9日（月）～13日（金）個人面談期間
- 10日（火）都難言協新旧役員研究会
- 11日（水）ことば卒業を祝う会

「お知らせ」

12月に、第3回「入級支援委員会」が本校で開かれました。4名の児童の入級が決まりました。第4回の入級支援委員会は、2月12日（木）です。

東京デフリンピック

11月17日、東根小の3年生から6年生の児童が、耳が聞こえない・聞こえにくい選手のための国際的なスポーツ大会であるデフリンピックの応援に出かけました。今年はデフリンピック開催100周年、そして初めての日本開催という記念すべき大会でした。当日は、きこえの校内通級児童2名も、陸上競技を観戦しました。会場では、観客にも内容が伝わるよう、手話や文字情報を用いた視覚的情報保障の工夫がされていました。児童たちは、サインエール（手話による応援）や応援ボードを使って選手たちに気持ちを届けていました。きこえに配慮した応援の仕方や大会に触れる貴重な学びの機会となりました。



学習発表会



調べたことや自分が作りたいものを形にして待合室に展示しました。同じ時間帯の通級児同士で発表し合ったり、学習用情報端末のモニターで発表を視聴したりしました。

児童は、自分の思いや考えを表現したり、発表したりすることの楽しさを味わいました。発表や鑑賞した後は、互いの感想を伝えることができました。



グループ学習



ことばグループ 11月14日(金)

今回も15名が参加し、自然と会話が弾むような安心感の中で、賑やかに始まりました。低学年児童が初めて司会に挑戦し、上級生が始まると終わりの言葉を担当して、会を盛り上げてくれました。

『吃音クエスト～勇者の旅～』では、児童が勇者となり、吃音に関する依頼を解決していくという内容の活動を行いました。自分の立場で伝えられることや、相手の立場で考えることなどを、個々の用紙に回答し、最後の振り返りで見合いました。仲間の思いや考えを知り、吃音との向き合い方を見つめ直したり、励まされたりして、充実した活動となりました。最終戦のボス戦も盛り上りました。

『王様ドッジボール』の役割り決めや、作戦会議も和気藹々と進み、皆で大笑いしながら活動しました。大満足の笑顔で終了しました！



きこえグループ 11月18日(火)

今回は、学習発表会を兼ねたグループ学習でした。児童一人一人がテーマをもちロイロノート・スクールなどを活用して資料を作成し、発表を行いました。デフリンピッククイズでは、5年生が行った調べ学習の内容を基に必要な情報を自分で探しながら答えました。自分が日常的に使用している「YY 文字起こし」アプリの紹介、クラス替えを見据えて新しい担任に配慮してほしいことをまとめた資料、初めて取り組んだスライム作りの手順説明など、多岐にわたりました。発表では伝える相手を意識した構成や視覚的工夫が見られ、聞き手の児童も、集中して目と耳を向けている姿が印象的でした。